

■ Eメール詳細表示画面でできること

1 受信メール詳細表示画面／送信メール詳細表示画面／未送信メール詳細表示画面／検索結果メール詳細表示画面→[■]

2 転送	転送するEメールを作成します。 ・送信メール作成画面が表示されます。 ・件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 ・元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
移動	Eメールを移動します。 移動先のフォルダを選択 ・あらかじめフォルダを作成してください(▶P.41)。
削除	Eメールを削除します。
本文選択	Eメールの本文を選択してコピーします。 表示される本文選択画面でコピーする文字列の開始位置をタップする、または「[■]」／「[■]」でカーソルを移動→「選択開始」→「[■]」／「[■]」で選択範囲を指定→「コピー」 ・Eメール詳細表示画面→本文をロングタッチ→「本文選択」と操作しても本文選択画面を表示できます。 ・本文選択画面をロングタッチ→「[■]」／「[■]」をドラッグして選択範囲を指定→「コピー」と操作することもできます。 ・「全選択」をタップすると、本文全体を選択できます。 ・絵文字やインライン画像もコピーできます。 ・一部の装飾(文字位置／効果、背景色)はコピーされません。
文字サイズ	本文の文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」 ・Eメール詳細表示画面を閉じると、「受信・表示設定」で設定した文字サイズに戻ります。
その他	ストレージへ保存 Eメールを保存します。microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカードに、取り付けられていない場合は内部ストレージに保存します。 ・保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ・復元」で本製品に読み込むことができます(▶P.45)。 文字コード 本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 「ISO-2022-JP」「Shift-JIS」「UTF-8」「EUC-JP」「ASCII」 ・変更した文字コードは、表示中のEメール詳細表示画面でのみ一時的に適用されます。 本文受信 本文未受信メールを表示した際、本文受信を開始します。 共有 データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。

※画面により選択できる項目は異なります。

■ フォルダー一覧画面でできること

1 フォルダー一覧画面→[■]

2 検索	▶P.39「Eメールを検索する」
フォルダ編集	▶P.41「フォルダを作成／編集する」
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 削除するフォルダを選択→「削除」→「削除」 ・ロックされたフォルダは選択できません。 ・フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護されたメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたメールが残ります、フォルダは削除されません。
再振分け	現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 ・ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
Eメール設定	▶P.42「Eメールを設定する」
ヘルプ	「サービス概要」や「更新情報」を確認できます。

■ フォルダを作成／編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

1 フォルダー一覧画面→「フォルダ作成」

フォルダ編集画面が表示されます。

2 フォルダ名称欄をタップ→フォルダ名を入力

フォルダ名は、全角8／半角16文字まで入力できます。

■ フォルダアイコンを変更する場合

3 画面左上のフォルダアイコンをタップ

4 アイコンを選択→カラーを選択→[OK]→[保存]

■ フォルダ画像を設定する場合

3 画面左上のフォルダアイコンをタップ→「ギャラリーから写真を選択」

4 画像を選択→切り抜き範囲を指定→「切り抜き」→[OK]→[保存]



◎ 最大20個のフォルダを作成できます。

■ フォルダに振分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振分け条件を設定できます。設定した振分け条件に該当するEメールを受信／送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

1 フォルダー一覧画面→[■]→「フォルダ編集」→フォルダを選択

フォルダ編集画面が表示されます。

ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

■ 振分け条件を追加する場合

2 「振分け条件追加」→[■]

3 メールアドレス	Eメールアドレスを振分け条件に登録します。 Eメールアドレスを入力→[OK]→[保存] ・「[■]」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け*」から入力方法を選択して、Eメールアドレスを登録できます。
ドメイン	ドメインを振分け条件に登録します。 ドメインを入力→[OK]→[保存] ・「[■]」をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け*」から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。
件名	件名を振分け条件に登録します。 件名を入力→[OK]→[保存] ・件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

※クリップボードに文字が記憶されている場合に 표시됩니다。

■ アドレス帳登録外／不正なメールアドレスを振分け条件に設定する場合

2 「アドレス帳登録外」／「不正なメールアドレス」を選択→[保存]



- ◎ 振分け条件を設定／編集して「保存」をタップすると、フォルダの再振分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振分けを行う場合は、「再振分けする」をタップします。
- ◎ 全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。
- ◎ 同一の振分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。
- ◎ 「振分け条件設定」の一覧で、追加した条件の右横にある「[■]」をタップして、条件を編集したり削除することができます。
- ◎ 振り分けの対象となるEメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。
- ◎ 一致する振分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス>ドメイン>件名>その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To>Cc>Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス／ドメイン>2番目のメールアドレス／ドメイン>...>最後のメールアドレス／ドメインの優先順位で振り分けられます。

■ フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレーション、着信ランプを設定できます。

- 1 **フォルダー一覧画面→[E]→[フォルダ編集]→受信ボックス／フォルダを選択**
フォルダ編集画面が表示されます。
ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2 **[フォルダ別設定]**

3 着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音	アプリを利用して着信音／通知音を設定します。
	通知音	
	ストレージから探す	内部ストレージやmicroSDメモ리카ードの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのバイブレーションを設定します。 [OFF]／パターンを選択→[OK]	
LED	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信ランプを設定します。 [OFF]／パターンを選択→[OK]	
着信音鳴動時間	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
通知ポップアップ	スタート画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.38「Eメールを受信する」	
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時にスリープモードを解除し、画面を点灯させるかどうかを設定します。 ▶P.38「Eメールを受信する」	

4 **[OK]→[保存]**

■ フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。
あらかじめ「Eメール設定」の「パスワード設定」でフォルダロック解除パスワードを設定してください(▶P.42)。

- 1 **フォルダー一覧画面→[E]→[フォルダ編集]→受信ボックス／フォルダを選択**
フォルダ編集画面が表示されます。

- 2 **[フォルダロック]→フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]**
「フォルダロック」が選択されます。
フォルダ編集画面で「フォルダロック」の選択を解除すると、フォルダロック設定が解除されます。

3 **[保存]**

■ フォルダを並べ替える

- 1 **フォルダー一覧画面→移動するフォルダをロングタッチ**
画面上部に「選択したフォルダの場所を移動できます。」が表示されます。

2 **移動する位置にドラッグ**

**memo**

◎ 作成したフォルダ以外は移動できません。

Eメールを設定する

- 1 **ホーム画面→[Eメール]**

- 2 **[E]→[Eメール設定]**
Eメール設定画面が表示されます。

3 受信・表示設定	▶P.43「受信・表示に関する設定をする」	
送信・作成設定	▶P.43「送信・作成に関する設定をする」	
通知設定	基本通知設定	▶P.44「通知に関する設定をする」
	個別通知設定	▶P.44「個別の通知に関する設定をする」
添付ファイル保存設定*	保存場所の設定	Eメールにファイルが添付されているとき、添付ファイルが自動的に保存される場所を選択します。 本体メモリに保存: 本体メモリに保存します。 ストレージに保存: 内部ストレージに保存します。
	添付ファイル一括移動	自動的に保存された添付ファイルを別の場所にまとめて移動します。 ストレージへ一括移動: 本体メモリから内部ストレージに移動します。 本体メモリへ一括移動: 内部ストレージから本体メモリに移動します。
プライバシー設定	パスワード設定／パスワード変更	フォルダロック、シークレット機能のパスワードを設定／変更します。 フォルダロック解除パスワード(4～16文字の英数字)を入力→[OK]→同じパスワードを再度入力→[OK]→ひみつの質問を選択→[OK]→ひみつの質問の回答を入力→[OK] ・パスワードを設定すると「パスワード変更」が表示されます。 ・フォルダロックを解除時に、パスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。[表示する]→回答を入力→[OK]と操作すると、新しいパスワードを設定できます。
	パスワードリセット	パスワードをリセットします。 フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]→[リセット] ・パスワード未設定の場合は選択できません。 ・パスワードをリセットすると、フォルダロック、シークレット機能も解除されます。
	シークレット	シークレット機能の有効／無効を設定します。 パスワードを入力→[OK] ・表示されるシークレットモードの説明をよくお読みになりご利用ください。 ・パスワード未設定の場合は設定できません。 ・シークレット機能を有効／無効にする場合やシークレット機能を一時解除する場合に誤ったパスワードを入力しても、ポップアップなどは表示されません。
アドレス変更・その他の設定	▶P.44「アドレスの変更やその他の設定をする」	
設定更新	Eメールアドレスの再初期設定を行います。	
バックアップ・復元	▶P.45「Eメールをバックアップ／復元する」	
Eメール情報	自分のEメールアドレスやEメール保存件数／使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 ・Eメールアドレス欄をタップ→[アドレスコピー]と操作すると、Eメールアドレスをコピーできます。	

※ 受信／送信／未送信メールに添付されているファイルの保存場所を設定します。設定によりシステムメモリの負担を軽減させることができます。本操作の「添付データ」はファイル検索を行ってもデータを確認することができません。また、削除するメールにファイルが添付されている場合、添付ファイルも一緒に削除されます。残しておきたい添付ファイルの保存方法は、「添付データを受信・再生する」(▶P.38)にてご確認ください。

受信・表示に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[受信・表示設定]

メール自動受信	サーバーに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。オフに設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバーに到着したことをお知らせします。	
メール受信方法	全受信	差出人・件名と本文を受信します。
	指定全受信※1	指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。 アドレス帳: 電話帳に登録されているアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信します。 個別アドレスリスト: 「個別アドレスリスト編集」で登録したアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信します。 個別アドレスリスト編集: 個別アドレスを登録します。 ・「  」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け※2」から入力方法を選択して、個別アドレスを登録できます。 ※「貼り付け」はクリップボードに文字が記憶されている場合にのみ表示されます。 ・登録した個別アドレスを削除するには、削除するアドレスの  →[削除]→[登録]と操作します。
	差出人・件名受信※1	差出人・件名のみを受信します。
添付自動受信	受信メールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。オンに設定すると、Eメールの受信と同時に添付データを受信します。オフに設定すると、添付データを別途取得します。	
添付自動受信サイズ	自動受信する添付データの上限サイズを設定します。 「100KB」「500KB」「1MB」「2MB」	
アドレス帳登録名表示	電話帳に登録された名前を表示するかどうかを設定します。	
文字サイズ	Eメール詳細表示画面／送信メール作成画面の本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」	
テーマ設定	Eメールアプリの画面デザインを設定します。	
背景画像設定	背景画像(縦画面)	背景画像を設定します。 [設定する]→アプリを選択→画像を選択→[切り抜き]
	背景画像(横画面)	

※1 差出人・件名のみを受信したEメールは、受信メール一覧画面でEメールをタップすると、本文を取得できます。本文未受信のままEメール詳細表示画面が表示されたときは、→[その他]→[本文受信]と操作すると、本文を取得できます。本文受信は、電波状態の良いところで行ってください。

※2 クリップボードに文字が記憶されている場合にのみ表示されます。

送信・作成に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[送信・作成設定]

返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。 [設定する]→返信先のEメールアドレス(半角64文字まで)を入力→[OK]
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 [設定する]→差出人名称(全角8／半角24文字まで)を入力→[OK]
冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。 [設定する]→冒頭文(全角833／半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで)を入力→[完了]→[設定] ・冒頭文には、最大10種類の画像／D絵文字を挿入できます。 ・冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／D絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像／D絵文字を挿入できません。 ・冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 ・会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、スレッド内容表示画面の本文入力欄→  →[挿入]→[冒頭文]と操作して挿入してください。
署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。 [設定する]→署名(全角833／半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで)を入力→[完了]→[設定] ・署名には、最大10種類の画像／D絵文字を挿入できます。 ・冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／D絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像／D絵文字を挿入できません。 ・冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 ・会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、スレッド内容表示画面の本文入力欄→  →[挿入]→[署名]と操作して挿入してください。
返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。オンに設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。 ・会話モードでご利用の場合、オンに設定していても受信メールの内容は引用されません。
送信時確認表示	誤送信を防ぐために、送信時に確認画面を表示するかどうかを設定します。
自動再送信	送信に失敗したEメールを自動的に再送信するかどうかを設定します。
宛先候補表示	宛先入力時に入力候補を表示するかどうかを設定します。

通知に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[通知設定]→[基本通知設定]

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音	アプリを利用して着信音／通知音を設定します。
	通知音	
	ストレージから探す	内部ストレージやmicroSDメモ리카ードの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 [OFF] / パターンを選択 → [OK]	
LED	Eメール受信時の着信ランプを設定します。 [OFF] / パターンを選択 → [OK]	
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
ステータスバー通知	Eメール受信時、ステータスバーに通知アイコンとともに差出人・件名または差出人を表示するか、または通知アイコンのみ表示するかを設定します。 「差出人・件名」「差出人」「通知のみ」「OFF」	
送信失敗通知	Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。	
通知ポップアップ	スタート画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.38「Eメールを受信する」	
Eメール受信時の画面点灯	Eメール受信時にスリープモードを解除し、画面を点灯させるかどうかを設定します。 ▶P.38「Eメールを受信する」	
電源キー押下による着信音鳴動停止	着信音鳴動中に、[電源]を押すことによって鳴動を停止するかどうかを設定します。	

個別の通知に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[通知設定]→[個別通知設定]

2 [新規設定]

3 [アドレス帳引用] / [メール受信履歴引用] / [メール送信履歴引用] → 設定するアドレスを選択 → [選択]

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音	アプリを利用して着信音／通知音を設定します。
	通知音	
	ストレージから探す	内部ストレージやmicroSDメモ리카ードの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 [OFF] / パターンを選択 → [OK]	
LED	Eメール受信時の着信ランプを設定します。 [OFF] / パターンを選択 → [OK]	
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
通知ポップアップ	スタート画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.38「Eメールを受信する」	
Eメール受信時の画面点灯	Eメール受信時にスリープモードを解除し、画面を点灯させるかどうかを設定します。 ▶P.38「Eメールを受信する」	

アドレスの変更やその他の設定をする

1 Eメール設定画面→[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]

Eメールアドレスの変更へ	EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。 1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信] 2. [承諾する] 3. Eメールアドレス入力欄をタップ→Eメールアドレスの「@」の左側の部分(変更可能部分)を入力→[送信]→[OK] - Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「-」「_」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。 - 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 - 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。 - Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルターの設定／確認へ	オススメの設定はこちら ▶P.45「迷惑メールフィルターを設定する」
自動転送先の設定へ	受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。 1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信] 2. 入力欄をタップ→Eメールアドレスを入力→[送信]→[閉じる] - 自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。 - 自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。 ※ 設定をクリアする操作は、回数には含まれません。 「エラー！ Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。 - Eメールアドレスを間違えて設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。 - 自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。



◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

Eメールをバックアップ／復元する

Eメールを2つの方法でバックアップすることができます。また、バックアップしたメールデータは本製品へ読み込むことができます。



◎ バックアップしたデータは、microSDメモ리카ードが取り付けられている場合はmicroSDメモ리카ード(/storage/sdcard1/private/au/email/BU/)に、取り付けられていない場合は内部ストレージ(/storage/emulated/0/private/au/email/BU/)に保存されます。

メールデータをバックアップする

メールデータ(メール本文・添付ファイル)をバックアップすることができます。

- 1 **Eメール設定画面→[バックアップ・復元]**
- 2 **[メールデータバックアップ]→[OK]**
- 3 **バックアップデータを作成するための文字コードにチェックを付ける→[OK]**
文字コードについては「ヘルプ」をタップして確認してください。
- 4 **バックアップするメール種別にチェックを入れる→[OK]**
フォルダモードでバックアップするフォルダを選択します。ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
バックアップしたメールデータは、microSDメモ리카ードが取り付けられている場合はmicroSDメモ리카ードに保存されます。

メールデータを復元する

バックアップしたメールデータ(メール本文・添付ファイル)を復元することができます。

- 1 **Eメール設定画面→[バックアップ・復元]**
- 2 **[メールデータ復元]**
- 3 **[受信メール]／[送信メール]／[未送信メール]／[ストレージから探す]→[OK]**
- 4 **復元するバックアップデータを選択→[OK]**
「全選択」をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。
「Up」をタップして1つ上の階層のフォルダを選択できます。
「MyFolder」をタップするとMyFolderを開くことができます。
- 5 **[追加保存]／[上書き保存]→[OK]**
「上書き保存」を選択した場合は、確認画面で「OK」をタップします。



◎ 添付されたデータもバックアップできます。
※ バックアップしたファイルサイズが本製品に保存可能なサイズを超過した場合はバックアップできません。不要な添付ファイル付きメールを削除したうえで再度バックアップを行ってください。
◎ メールデータのバックアップでは、シークレット機能を有効にし、シークレット機能が一時解除されている状態ではバックアップ、復元がご利用いただけません。シークレット機能を無効にしたうえでバックアップ、復元の操作を行うか、まるごとバックアップをご利用ください。
◎ シークレット機能を有効にしてメールデータのバックアップを行うと、シークレット対象のメールデータはバックアップされませんのでご注意ください。
◎ バックアップしたメールデータを復元する際に「上書き保存」を選択した場合は、選択したメール種別に応じて、「受信ボックス」／「送信ボックス」／「未送信ボックス」に保存されているすべてのEメールを削除して(保護されているEメールや未読メールも削除されます)、バックアップしたメールデータを復元します。
◎ 復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得することはできません。

Eメールをまるごとバックアップする

Eメールアプリに保存されているメールデータ(メール本文・添付ファイル)、Eメール設定、振分け条件を、まるごとバックアップすることができます。
シークレット対象のメールデータもバックアップできます。

- 1 **Eメール設定画面→[バックアップ・復元]**
- 2 **[まるごとバックアップ]**
バックアップしたデータは、microSDメモ리카ードが取り付けられている場合はmicroSDメモ리카ードに保存されます。

まるごとバックアップデータを復元する

まるごと復元を実施すると、現在Eメールアプリに保存されているメールデータ(本文・添付ファイル)、Eメール設定、振分け条件をすべて消去し、復元します。

- 1 **Eメール設定画面→[バックアップ・復元]**
 - 2 **[まるごと復元]**
 - 3 **復元するバックアップデータを選択→[OK]**
- 復元前にメールデータがない場合
- 4 **[OK]**

■ 復元前にメールデータをバックアップする場合

- 4 **[バックアップ]→[OK]**
シークレット機能を有効にしてメールデータのバックアップを行うと、シークレット対象のメールデータはバックアップされません。
 - 5 **文字コードを選択→[OK]**
 - 6 **バックアップするメール種別を選択→[OK]**
ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
 - 7 **[OK]→[OK]→[OK]**
- 復元前にメールデータをバックアップしない場合
- 4 **[まるごと復元]→[OK]→[OK]**



◎ まるごと復元が完了するとEメールアプリが再起動されます。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

- 1 **Eメール設定画面→[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]**

■ おすすめの設定にする場合

- 2 **[オススメの設定はこちら]→[OK]**
なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルターの設定／確認へ]→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]

3	オススメ設定へ	とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメです。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
	個別設定	受信リスト・アドレス帳受信設定へ 個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 受信リストに登録したメールアドレス以外のEメールをすべてブロックする場合は、「携帯／PHSのみ受信設定へ」を「設定する」に設定し、「携帯／PHS等の事業者毎に受信／拒否設定する場合はコチラ」の「事業者毎の設定」ですべての事業者を「受信しない」に設定してください。 アドレス帳受信設定へ： Friends Noteもしくはauアドレス帳に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。 拒否リスト設定へ 個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。 携帯／PHSのみ受信設定へ PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。また、携帯／PHS事業者ごとにメールを一括で受信／拒否します。 上記以外の個別設定へ 迷惑メールおまかせ規制： メールサーバーで受信したPCメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 なりすまし規制： 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高) (低)の2つの設定を選択いただけます。 ※ 以前ご利用の携帯電話で(中)を設定されている場合も(高) (低)のみ選択可能です。 ※ なりすまし規制回避リスト設定により「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信することができます。 HTMLメール規制： メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 URLリンク規制： 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 ウィルスメール規制： 添付ファイルがウイルスに感染している迷惑メールをメールサーバーで規制します。 拒否通知メール返信設定： 迷惑メールフィルターで拒否されたメールに対して、受信エラー(宛先不明)メールを返信するための設定項目です。 ※ 以前ご利用の携帯電話で「返信しない」に設定している場合にのみ表示され、「返信する」の選択のみ可能です。
	一括解除	迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できます。

※「ヘルプ」をタップすると迷惑メールフィルターの各種機能の説明が表示されます。
※ 最新の設定機能は、auのホームページでご確認ください。
<http://www.au.kddi.com/> → [迷惑メールでお困りの方へ] → [迷惑メール防止方法] → [迷惑メールフィルター機能]

memo

- 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
- 迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
なりすまし規制回避リスト>なりすまし規制>拒否リスト設定>受信リスト設定>アドレス帳受信設定>HTMLメール規制>URLリンク規制>携帯／PHSのみ受信設定>迷惑メールおまかせ規制>ウィルスメール規制
- 「なりすまし規制回避リスト」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを「なりすまし規制回避リスト」に登録することにより、そのメールアドレスがTo(宛先)もしくはCc(同報)に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※ Bcc(隠し同報)のみに含まれていた場合(一部メルマガ含む)は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
- 「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、「なりすまし規制」および「迷惑メールおまかせ規制」でブロックされたメールには返信されません。
- 「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のゲートサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
- 「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できない場合があります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できません。
- 「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証(SPFレコード記述)を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきまして、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
※ パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「なりすまし規制回避リスト」に登録してください。

■パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。
auのホームページ内の「迷惑メールでお困りの方へ」の画面内にある「迷惑メールフィルター設定へ」を選択し、au IDとパスワードを入力してください。
※ au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。

SMSを利用する

携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。

1 アプリ一覧→[SMS]

相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 [📄]

SMS作成画面が表示されます。

・同じ相手にSMSを送信するときは、スレッドをタップしてもSMSを作成できます。その場合は、操作4へ進みます。

3 [宛先を入力]→相手先電話番号を入力

[📄]をタップして、電話帳などから相手先電話番号を選択して宛先を入力することもできます。

・海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。

010 + 国番号 + 相手先電話番号

※ 相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。

※ 電話帳などから相手先電話番号を引用した場合は、もう一度宛先をタップして「010」と「国番号」を入力してください。

4 [メッセージを入力]→本文を入力

本文は、全角70/半角160文字まで入力できます。

5 [送信]

送信したメッセージをロングタッチ→[送達確認結果]と操作すると、送信結果を確認できます。

memo

◎ メッセージ作成中に📄を押すと、スレッド一覧画面に「下書き」が表示され、SMSを送信せずに保存できます。

◎ SMSセンターは、次の通りSMSをお預かりします。

お預かり(蓄積)可能時間	72時間まで ※ 蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	制限なし ※ 受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。

◎ 蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。

SMS蓄積後すぐに配信	新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が本製品で通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。

※ 国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。

◎ 発信者番号通知をせずにSMSを送信することはできません。

◎ 絵文字を他社の携帯電話に送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、auの異なる携帯電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。

◎ SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信したメッセージに「▲」が表示される場合があります。

◎ 国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご参照ください。
<http://www.au.kddi.com/mobile/service/global/sms/>

SMSを受信する

1 SMSを受信

SMSの受信が終了すると、ステータスバーに[📄]が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 アプリ一覧→[SMS]

未読のSMSがあるスレッドには「📄」が表示されます。

3 確認する相手先のスレッドをタップ

受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

memo

◎ SMSの受信は、無料です。

◎ 受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。

◎ スレッド内容表示画面で[📄]をタップすると、相手先に電話をかけることができます。

◎ 受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。

SMSを返信／転送する

1 アプリ一覧→[SMS]

2 返信／転送するスレッドをタップ

■ 返信する場合

3 [メッセージを入力]→本文を入力

4 [送信]

■ 転送する場合

3 転送するメッセージをロングタッチ

メニューが表示されます。

4 [転送]

5 [宛先を入力]→相手先電話番号を入力

[📄]をタップして、連絡先などから相手先電話番号を選択して宛先を入力することもできます。

6 本文を入力

7 [送信]

電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 スレッド内容表示画面を表示

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

電話	選択した電話番号に電話をかけます。
SMS	選択した電話番号にSMSを送信します。

■ 本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 本文中のEメールアドレスをタップ

3 アプリを選択してEメールを作成

■ 本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3 アプリを選択してURLのページを表示

memo

◎ 本文中に電話番号やURLを含むSMSを受信するには、SMS安心ブロック機能を解除する必要があります(▶P.48「SMS安心ブロック機能を設定する」)。

SMSを保護／保護解除する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 保護／保護解除するメッセージをロングタッチ

メニューが表示されます。

3 [保護]／[保護解除]

保護したメッセージには「🔒」が表示されます。

SMSの電話番号を電話帳に登録する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 [📄]→[アドレス帳への登録]

電話帳一覧画面が表示されます(▶P.56「連絡先を登録する」)。

・スレッド一覧画面→登録する相手先の[📄]→[はい]と操作しても電話帳一覧画面が表示されます。

SMSを検索する

1 スレッド一覧画面→[📄]→[メッセージの検索]→キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

2 [🔍]

検索結果一覧画面が表示されます。

SMSを削除する

1 アプリ一覧→[SMS]

スレッド一覧画面が表示されます。

■ 1件削除する場合

2 削除するメッセージがあるスレッドをタップ

3 削除するメッセージをロングタッチ

メニューが表示されます。

4 [削除]→[削除]

■ スレッドごとに削除する場合

2 削除するスレッドをタップ

3 [■]→[メッセージの全件削除]→[削除]

■ 複数のスレッドを削除する場合

2 削除するスレッドをロングタッチ

3 続けて削除するスレッドをタップ

4 [■]→[削除]

■ すべてのスレッドを削除する場合

2 [■]→[全てのスレッドを削除]→[削除]

SMSを設定する

1 アプリ一覧→[SMS]

2 [■]→[設定]

SMS設定メニューが表示されます。

通知設定	SMS受信時、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。オフに設定すると、SMSを受信しても通知アイコンは表示されません。また、「着信音」「バイブレーション」「LED」も動作しません。
着信音	SMS受信時の着信音を設定します。 [OFF]／[プリセットから選択]／[ダウンロード曲から選択]→着信音を選択→[OK]
バイブレーション	SMS受信時のバイブレーションを設定します。 [OFF]／パターンを選択→[OK]
LED	SMS受信時に着信ランプを点滅するかどうかを設定します。
文字サイズ	SMSの本文の文字サイズを設定します。 [特大] [大] [中] [小] [極小]
署名	SMSの新規作成時に、本文にあらかじめ署名を挿入するかどうかを設定します。
署名編集	挿入する署名の内容を設定します。 署名を入力→[設定]
受信フィルター	▶P.48「受信フィルターを設定する」
送達確認	SMSが相手に届いた際、送信したメッセージに「  」を表示させるかどうかを設定します。
テーマカラー	SMSアプリのテーマカラーを設定します。 カラーを選択→[OK]



◎ SMS設定メニュー→[■]→[初期値に戻す]→[はい]と操作すると、SMSの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

受信フィルターを設定する

1 SMS設定メニュー→[受信フィルター]

指定番号	指定した電話番号からのSMSを受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
指定番号リスト	指定番号リストが表示されます。 入力欄をタップ→登録する電話番号を入力→[追加] ・「  」をタップすると、電話帳から電話番号を登録できます。 ・スレッド内容表示画面→[■]→[受信フィルター登録]→[追加]と操作しても登録できます。 ・登録した電話番号を削除するには、[削除]→削除する電話番号を選択→[削除]→[はい]と操作します。 ・電話番号は、最大10件まで登録できます。
アドレス帳登録外	電話帳に登録されていない電話番号からのSMSを受信拒否するかどうかを設定します。オンに設定すると、電話帳に登録されていない電話番号からのSMSを受信しないようになります。

SMS安心ブロック機能を設定する

SMS安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むSMSを受信拒否する機能です。



memo

- ◎ SMS安心ブロック機能は、ご利用開始時から設定が有効となっています。
- ◎ ブロック対象のSMSは、通常のSMS（ぶりペイド送信含む）です。
着信お知らせサービス、お留守番サービスEX（伝言お知らせ）*、待ちうた情報お知らせサービスは対象外です。
* お留守番サービスEXは有料オプションサービスです。

■ SMS安心ブロック機能の設定方法

SMS安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にSMSを送信することで行います。

設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にSMSを送信する。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にSMSを送信する。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にSMSを送信する。

* 設定時のSMS送信は無料です。

* 設定完了の案内SMSは、「09044440012」の番号通知で届きます。

■ SMS安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したSMSがSMS安心ブロック機能により受信拒否された場合は、送信したメッセージに「」が表示され送信されません。

PCメールを利用する

普段パソコンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、パソコンと同じようにメールを送受信できます。

- PCメールをご利用になるには、あらかじめPCメールのアカウントを設定する必要があります。

PCメールのアカウントを設定する

初めてPCメールを使用するときには、PCメールのアカウントを設定します。

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、PCメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいPCメールアカウント設定を問い合わせてください。

1 アプリ一覧→[PCメール]

2 PCメールのメールアドレスとパスワードを入力→[完了]→[次へ]

- 自動的にメールサーバーの設定が行われます。
- 「手動設定」をタップした場合、または「次へ」をタップしても自動的に設定できない場合は、アカウントタイプの選択画面が表示されます。画面の指示に従い、手動でPCメールアカウントを設定してください。

3 アカウントの設定で必要事項を選択→[次へ]

4 アカウント設定でアカウント名などを入力→[次へ]

設定したアカウントのメールが読み込まれ、受信トレイ画面が表示されます。

memo

- ◎ PCメールアカウントを追加するには、受信トレイ画面→[⋮]→[設定]→画面上部の「アカウントを追加」をタップして設定してください。

- ◎ 複数のPCメールアカウントが登録されている場合、受信トレイ画面上部のアカウント名をタップ→表示を切り替えるアカウントをタップすると、そのアカウントのみの受信トレイ画面が表示されます。

- ◎ 複数のPCメールアカウントが登録されている場合、受信トレイ画面上部のアカウント名をタップ→[統合ビュー]と操作すると、登録されているすべてのアカウントの受信メールが表示されます。

アカウントの設定を変更する

1 アプリ一覧→[PCメール]

受信トレイ画面が表示されます。

2 [⋮]→[設定]→設定を変更するアカウントを選択

3	アカウント名	アカウント名を変更します。
	名前	あなたの名前(差出人名)を変更します。
	署名	署名を変更します。
	クイック返信	本文に頻繁に挿入する文章を引用して、新規作成/編集できます。
	同期頻度*1	新着メールの自動確認の有無や自動確認の間隔を設定します。
	添付ファイルのダウンロード	Wi-Fi®接続時に最近受信したメールの添付ファイルを自動的にダウンロードします。
	メール着信通知	PCメールを受信した場合にステータスバーに受信したことを表示するかどうかを設定します。
	着信音を選択	着信音を設定します。
	バイブレーション	バイブレーションを設定します。
	受信設定	受信メールサーバーと送信メールサーバーを設定します。
	送信設定	

*1 「同期頻度」を「自動確認しない」以外に設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着メールを確認するたびに料金がかかる場合があります。

*メニューに表示される項目は、アカウントによって異なります。

PCメールのアカウントを削除する

1 アプリ一覧→[設定]→アカウントの[PCメール]をタップ

2 削除するアカウントをタップ→[⋮]→[アカウントを削除]→[アカウントを削除]

PCメールを送信する

1 受信トレイ画面→[✉]

PCメール作成画面が表示されます。

2 [To]→宛先を入力

- アルファベットや名前を入力すると、登録されている連絡先に前方一致するメールアドレスの候補が表示されます。

3 [件名]→件名を入力

4 [メールを作成します]→本文を入力

5 [▶]

PCメール作成画面のメニューを利用する

1 PCメール作成画面→[⋮]

2	ファイルを添付	PCメールに添付するファイルを選択します。 添付したファイルを削除する場合は[✕]をタップします。
	Cc/Bccを追加	Cc/Bcc入力欄を追加します。宛先と同じ方法で入力できます。
	下書きを保存	作成中のPCメールを下書きへ保存します。
	破棄	作成中のPCメールを破棄します。
	設定	メール受信時の動作や文字サイズなど、PCメール全般の設定やアカウントごとに設定します。
	クイック返信を挿入	クイック返信を選択し、本文に挿入します。

*メニューに表示される項目は、設定によって異なります。

PCメールを受信する

1 PCメールを受信

PCメールを受信するとステータスバーに[✉]が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下にスライド

3 PCメールの情報を選択

受信トレイ画面が表示されます。
1件受信の場合は、受信メール内容表示画面が表示されます。

4 受信したPCメールを選択

受信メール内容表示画面が表示されます。

memo

- ◎ アカウントの設定で「メール着信通知」(▶P.49)をオンに設定していない場合は、ステータスバーに通知されませんので、ご注意ください。

添付ファイルを保存する

1 受信メール内容表示画面→添付ファイルの右にある[⋮]

2 [保存]

- 添付ファイルは、内部ストレージに保存されます。
- 画像ファイルの場合は、ファイルをタップ→拡大表示された画面で[⋮]→[保存]をタップします。
- 保存された添付ファイルは「ギャラリー」(▶P.59)または「ファイル管理」(▶P.60)で確認できます。

memo

- ◎ 添付ファイルのあるメールは、受信トレイ画面に[📎]が表示されます。

メールを別のフォルダに移動する

1 受信トレイ画面→移動するメールをロングタッチ

2 [📁]→移動先のフォルダをタップ

memo

- ◎ 受信メール内容表示画面→[📁]→移動先のフォルダをタップ、と操作しても、メールを別のフォルダに移動できます。
- ◎ 登録したアカウントによっては、フォルダへの移動ができない場合があります。

PCメールを返信／転送する

1 受信トレイ画面→返信／全員に返信／転送するメールを選択

■送信者に返信する場合

2 「↶」

3 本文を入力

元のメールの本文を削除するには「元のメッセージ」を解除します。

4 「▶」

■全員に返信／転送する場合

2 「↶」の右側にある「⋮」をタップ→[全員に返信]／[転送]

3 本文を入力

「転送」を選択した場合は、転送先の宛先を入力します。

「全員に返信」を選択した場合に、元のメールの本文を削除するには「元のメッセージ」を解除します。

4 「▶」

PCメールを削除する

1 受信トレイ画面→削除するメールをロングタッチ→[🗑]

- 複数件削除したい場合は、ロングタッチ後、削除したいメールを複数件ロングタッチ→[🗑]と操作してください。



memo

◎ 受信メール内容表示画面→[🗑]と操作しても、メールを削除できます。

Gmailを利用する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの確認・送受信などができます。

- Gmailの利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。

Gmailを起動する

1 アプリ一覧→[Gmail]

アカウント設定したGmailの受信トレイ画面が表示されます。

- [🔍]→[ラベルの設定]と操作すると、受信トレイの同期と通知設定画面が表示されます。
- 画面の左端を右方向にスライドすると、受信トレイや送信トレイなどが一覧で表示されるラベル画面が表示されます。

Gmailを更新する

本製品の「Gmail」アプリとサーバーのGmailを同期して、新着メールを受信できます。

1 受信トレイ画面→下方向にスライド

- 受信トレイ画面→[🔄]→[更新]と操作してもGmailを更新できます。

Gmailを送信する

1 アプリ一覧→[Gmail]

2 「✉」

3 [To]→宛先を入力

4 [件名]→件名を入力

5 [メールを作成します]→本文を入力

6 「▶」

Gmailを受信する

1 Gmailを受信

Gmailを受信すると、ステータスバーに「✉」が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下にスライド

3 メールを選択

受信トレイ画面が表示されます。

1件受信の場合は、受信メール内容表示画面が表示されます。

4 受信したメールを選択

受信メール内容表示画面が表示されます。

Gmailを返信／転送する

1 アプリ一覧→[Gmail]

■送信者に返信する場合

2 返信するメールを選択→「↶」

3 本文を入力

4 「▶」

■全員に返信／転送する場合

2 全員に返信／転送するメールを選択→「↶」の右側にある「⋮」をタップ→[全員に返信]／[転送]

3 本文を入力

「転送」を選択した場合は、転送先の宛先を入力します。

4 「▶」

Gmailのメニューを利用する

Gmail受信トレイ画面や受信メール内容表示画面で、画面の一番上にある「🔍」をタップするとメニューが表示され、設定やヘルプなどの操作が行えます。

インターネット

インターネットに接続する 52
 パケット通信を利用する..... 52
ブラウザを利用する..... 52
 Webページを表示する..... 52
 ブックマーク／履歴を利用する 53

インターネットに接続する

パケット通信または無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してインターネットに接続できます。

- パケット通信(LTE NET、LTE NET for DATA)(▶P.52「パケット通信を利用する」)
- Wi-Fi®(▶P.79「無線LAN(Wi-Fi®)機能」)



◎ LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、パケット通信を利用することができません。

パケット通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリを起動すると自動的に接続されます。LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、アプリ一覧→[設定]→[その他...]→[モバイルネットワーク]→[au ネットワーク設定]→[接続サービスの設定]→[LTE NET for DATA]と操作します。



◎ LTEフラットなどのパケット通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、パケット通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。

■ パケット通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリやGoogleサービスなどのアプリを使用するなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となるため、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめいたします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。

<https://cs.kddi.com/>(auお客さまサポート)

- 初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。

Webページを表示する

1 ホーム画面→[ブラウザ]

ブラウザ画面が表示されます。
お買い上げ時はAndroid向けの「auスマートパス」がホームページに設定されています。



◎ 非常に大きなWebページをブラウザで表示した場合は、アプリが自動的に終了することがあります。

■ ブラウザ画面での基本操作

次のタッチパネル操作でWebページを閲覧できます(Webページによっては操作できない場合があります)。

- タップ: リンクやキーを選択・実行できます。
- スライド/フリック: ページをスクロールできます。
- 2本の指を広げる/狭める: ページを拡大/縮小できます。

■ Webページ内のテキストをコピーする場合

- ブラウザ画面→テキストをロングタッチ
- 「」/「」をドラッグして、テキストの範囲を選択
- 「」(Copy)
- 貼り付け先の入力欄をロングタッチ→[貼り付け]
コピーしたテキストを貼り付けます。

Webページを移動する

ブラウザ画面の上部に表示されるURL表示欄にキーワードを入力して、Webサイトの情報を検索できます。また、URLを直接入力してサイトを表示できます。

1 ブラウザ画面→URL表示欄を選択

2 URL表示欄にキーワード/URLを入力→[実行]

- 入力した文字を含む検索候補がURL表示欄の下に一覧表示された場合は、タップしてWebページを表示することもできます。



- ◎ URL表示欄にキーワードを入力した場合、ブラウザ設定メニューの「検索エンジンの設定」で設定した検索エンジンで検索します(▶P.52)。
- ◎ クイックメニュー(▶P.52)をオンにしている場合、URL表示欄はブラウザ画面上部には表示されません。クイックメニューから表示してください。

ブラウザ画面のメニューを利用する

1 ブラウザ画面→[]

2 再読み込み/停止	表示中のサイトの情報を再読み込みします。読み込み中の場合は、読み込みを中止します。
進む	「<」を押してサイトを表示していた場合に、操作前に表示していたサイトに進みます。
ブックマークを保存	▶P.53「ブックマークに登録する」
ブックマーク	▶P.53「ブックマーク/履歴を利用する」
ページを共有	表示しているサイトのURLをメールなどで共有できます。
ページ内を検索	表示しているページ内でテキストを検索します。
ブラウザ終了	ブラウザを終了できます。
PC版サイト表示	パソコン用のサイトを表示します。
新規タブ	タブを追加します。
設定	ホームページの設定、プライバシー設定、セキュリティ設定、文字サイズや検索エンジンの設定、設定のリセットなどを行うことができます。

■ リンクのメニューを利用する

リンクをロングタッチするとメニューが表示され、リンクの保存、URLのコピーなどの操作が行えます。

クイックメニューを利用する

ブラウザ画面→[]→[設定]→[Labs]→[クイックメニュー]と操作すると、ブラウザ画面から新しいタブやブックマーク画面をすばやく表示できる「クイックメニュー」を利用できます。

クイックメニューは、ブラウザ画面の左端または右端から画面の中央に向けて指をスライドさせて表示し、サブメニューから項目を選択できます。

- ① 設定メニュー
ブラウザ画面の設定メニューやパソコン用/スマートフォン用のサイトを表示します。
- ② サイト移動メニュー
前後のサイト移動や再読み込みします。
- ③ URL表示欄
別のサイトを現在のタブで表示、表示しているサイトの共有、ページ内のテキスト検索ができます。
- ④ タブ一覧
現在開いているタブの一覧表示、タブの追加、削除ができます。
- ⑤ ブックマーク
ブックマーク・履歴の表示、ブックマークの追加ができます。



ブックマーク／履歴を利用する

1 ブラウザ画面→[■]

ブックマーク画面が表示されます。

- ・クイックメニュー(▶P.52)をオンに設定している場合は、クイックメニューから[■]を選択してください。

2 「ブックマーク」／「履歴」タブをタップ

3 利用するブックマーク／履歴を選択



◎ ブックマーク画面→「履歴」タブをタップ→[■]／[■]と操作すると、選択した履歴をブックマークに追加／削除できます。

ブックマークに登録する

表示中のサイトをブックマークに登録します。

1 ブラウザ画面→[■]→[ブックマークを保存]

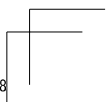
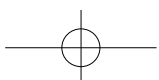
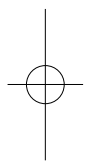
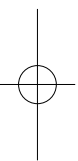
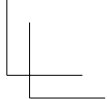
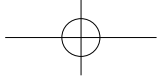
ブックマーク登録画面が表示されます。

2 ラベルやアカウント先などの項目を入力→[OK]

ブックマーク／履歴画面のメニューを利用する

ブックマーク画面でブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集や削除などの操作が行えます。

また、履歴画面で履歴をロングタッチすると、履歴からの消去やホームページとして設定するなどの操作が行えます。



ツール・アプリケーション

電話帳.....	56
連絡先を登録する.....	56
連絡先から電話をかける.....	56
連絡先を編集／削除する.....	56
グループを設定する.....	56
連絡先をインポート／エクスポートする.....	57
連絡先のメニューを利用する.....	57
カメラ.....	57
カメラを利用する.....	57
バーコードリーダーを利用する.....	59
ギャラリー.....	59
静止画や動画を再生する.....	59
ギャラリーのメニューを利用する.....	59
音楽を聴く.....	60
音楽データを再生する.....	60
ビデオを再生する.....	60
ファイルを一覧で表示する.....	60
データを再生する.....	60
おサイフケータイ®.....	61
NFCを利用する.....	62
FeliCaに対応したサービスを利用する.....	63
Androidアプリ.....	63
Google Playを利用する.....	63
アプリを管理する.....	64
YouTube.....	64
YouTubeを利用する.....	64
Facebookを利用する.....	64
Friends Noteを利用する.....	64
Googleサービス.....	64
ハングアウトを利用する.....	64
Googleマップを利用する.....	65
周辺のスポットを確認する.....	65
道案内を取得する.....	65
カレンダーを利用する.....	65
予定を新規登録する.....	65
カレンダーのメニューを利用する.....	65
時計を利用する.....	66
アラームを利用する.....	66
時計を表示する.....	66
タイマーを利用する.....	66
ストップウォッチを利用する.....	66
Keepを利用する.....	66
メモを追加する.....	66
メモを確認／編集する.....	66
メモを削除する.....	66
電卓を利用する.....	66
音声レコーダーを利用する.....	67
簡易ライトを利用する.....	67
エコモードを利用する.....	67
スクリーンショットシェアを利用する.....	67
auお客さまサポートを利用する.....	68
安心セキュリティバックを利用する.....	68
auスマートサポートを利用する.....	69
安心アクセス for Android™を利用する.....	69
スマートフォン自動診断を利用する.....	70
au Wi-Fi接続ツールを利用する.....	70
au災害対策アプリを利用する.....	70
auスマートパスを利用する.....	71

電話帳

電話帳には連絡先の各種情報が表示されます。



- 電話帳に登録された電話番号や名前などは、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で電話帳が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「アカウントの設定をする」(▶P.85)を利用して、サーバーに保存されたGoogleの連絡先などと本製品の電話帳を同期できます。(Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください。)

連絡先を登録する

1 アプリ一覧→[電話帳]

電話帳一覧画面が表示されます。
連絡先が未登録の場合は、操作 2 で新規連絡先を登録してください。
アカウントが未登録の場合は、アカウントの登録を行ってください。アカウントが未登録でも「新しい連絡先を作成」をタップすると、新規連絡先の登録を行えます。



《電話帳一覧画面(50音順)》

- 1 グループの名前**
画面左端の「[+]」をタップするとグループの一覧を表示します。
「すべて」: すべての連絡先を表示
 - 2 連絡先に登録された名前**
タップすると、連絡先画面が表示され、次の操作ができます。
 - ・「お気に入り」をタップすると、「☆」が「★」に変わり、連絡先をお気に入りに登録できます。
 - ・「編集」をタップすると、連絡先を編集できます(▶P.56)。
 - ・「[X]」や「[X]」などをタップすると、連絡先の表示項目が切り替わります。
 - ・「詳細表示」をタップすると詳細表示画面が表示されます。
 - 3 グループ**
タップするとグループの一覧を表示します。
 - ・「お気に入り」をタップすると、お気に入り一覧画面が表示され、お気に入リストを確認できます。
 - 4 検索**
登録されている連絡先を検索します。
 - 5 メニュー**
メニューを表示します(▶P.57)。
 - 6 インデックスタブ**
上下にフリックすると、インデックスタブがスクロールされます。
タップして文字が表示された場合、その文字にスライドすると、選んだ文字から始まる連絡先が表示されます。
インデックスタブの表示位置は、お買い上げ時は「右側」に設定されています。
メニューから「左側」に変更することもできます(▶P.57)。
 - 7 新規作成**
連絡先を登録します。
- 2 [新しい連絡先を作成]→[本体に保存]／[アカウントを追加]**
- ・「アカウントにログイン」／「アカウントを追加」をタップした場合は、画面の指示に従って操作してください。
 - ・「連絡先のインポート」をタップした場合は、「連絡先をインポート／エクスポートする」(▶P.57)をご参照ください。
- 3 必要な項目を入力**
- ・各項目をタップすると項目を入力できます。また「新しく追加」／「[X]」をタップすると、項目を追加／削除できます。
 - ・「別のフィールドを追加」をタップすると、新しい項目を追加できます。
 - ・項目によっては、右側に表示されているラベル欄をタップすると、ラベルを変更できます。「カスタム」を選択すると、新しいラベル名を入力できます。
- 4 [OK]**



- 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
- 相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信設定」は有効になりません。
- グループの一覧で「グループ作成」をタップすると新規グループの追加を行えます(▶P.56)。

連絡先から電話をかける

- 1 電話帳一覧画面→電話をかける連絡先をタップ**
- 2 [電話]**

連絡先を編集／削除する

連絡先を編集する

- 1 編集する連絡先の連絡先画面／詳細表示画面→[編集]**
連絡先編集画面が表示されます。
- 2 項目を選択して編集**
- 3 [OK]**

連絡先を削除する

- 1 削除する連絡先の詳細表示画面→[この連絡先を削除する]→[OK]**
 - ・ 電話帳一覧画面→[メニュー]→[削除]→削除する連絡先をタップ→[削除]→[OK]と操作しても、連絡先を削除できます。



- 本体の空き容量が少ないと、連絡先の編集／削除ができない場合があります。ご注意ください。

グループを設定する

連絡先をグループに登録できます。
・「アカウントの設定をする」(▶P.85)を利用して、アカウントと同期すると、自動的にグループが作成されます。

- 1 電話帳一覧画面→[グループ]→[グループ作成]**
 - ・ 「登録先」メニューが表示された場合は、使用するアカウントを選択してください。
- 2 グループに登録する連絡先をタップ→[OK]**
- 3 グループの名前を入力→[OK]**



- グループの編集は、電話帳一覧画面→[グループ]→[編集]→グループを選択して行うことができます。「グループの着信設定」なども設定できます。
- 相手の方から電話番号の通知がない場合は、「グループの着信設定」は有効になりません。
- 個別の連絡先に「着信設定」が設定されている場合は、そちらが優先されます。
- グループを削除しても、登録されている連絡先は削除されません。
- グループを並べ替えるには、グループの一覧→[編集]→グループをロングタッチ→移動する位置へドラッグし、指を離す→[編集を終了]と操作します。

連絡先をインポート／エクスポートする

連絡先をauサーバ／内部ストレージ／microSDメモリカードからインポート／エクスポートできます。

- ・連絡先によっては、データの一部がインポート／エクスポートされない場合があります。

インポートする

auサーバ／内部ストレージ／microSDメモリカードに保存されている連絡先をインポートします。

■ご購入後、初めてインポートする場合

1 アプリ一覧→[電話帳]

2 [連絡先のインポート]→[電話帳をauサーバに保存・同期]／[内部ストレージからインポート]／[SDカードからインポート]

■既に電話帳に連絡先が登録済みの場合

1 電話帳一覧画面→[メニュー]→[インポート／エクスポート]

2 [電話帳をauサーバに保存・同期]／[内部ストレージからインポート]／[SDカードからインポート]

アカウントを登録している場合は、登録先を選択する画面が表示されます。登録先を選択してください。

3 インポートする連絡先ファイル(vCardファイル)をタップ→[OK]

連絡先ファイルの選択画面→[すべて選択]→[OK]と操作すると、すべての連絡先ファイルをインポートできます。

エクスポートする

auサーバ／microSDメモリカードへエクスポートします。

1 電話帳一覧画面→[メニュー]→[インポート／エクスポート]

2 [電話帳をauサーバに保存・同期]／[SDカードにエクスポート]

連絡先の選択画面が表示されます。

3 エクスポートする連絡先をタップ→[OK]→[OK]

連絡先の選択画面→[すべて選択]→[OK]→[OK]と操作すると、すべての連絡先をエクスポートできます。

連絡先のメニューを利用する

■「メニュー」で表示されるメニューについて

電話帳一覧画面／詳細表示画面で「メニュー」をタップするとプロフィールの表示や連絡先の削除、インポート／エクスポート、インデックスタブの表示位置などの表示設定が操作できます。

■ロングタッチで表示されるメニューについて

連絡先画面／詳細表示画面で、電話番号・メールアドレスなどをロングタッチすると、クリップボードにコピーなどの操作ができます。

カメラ

本製品に搭載されているカメラ機能を使って、静止画の撮影や動画の録画、バーコードの読み取りなどを行えます。

カメラを利用する

本製品は有効画素数約800万画素のCMOSアウトカメラと約200万画素のCMOSインカメラを搭載し、静止画や動画の撮影ができます。

電池残量が少ない場合や極端に高温になっている場合は、カメラを使用することができません。また、使用中は電池残量低下や温度上昇に応じてディスプレイの輝度が落ちる場合があります。

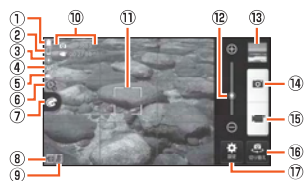
カメラをご利用になる前に

- ・レンズ部に指紋や油脂などが付くと、画像がぼやける場合があります。撮影前にはめがね拭き用などの柔らかな布でレンズ部を拭いてください。強くこするとレンズを傷つけるおそれがあります。
- ・撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがつかないようにご注意ください。ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- ・手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本製品が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
- ・また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- ・被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。
- ・動画を録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- ・次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
 - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
 - 強い逆光のもとにある被写体
 - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - 暗い場所にある被写体
 - 動きが速い被写体
- ・撮影ライトを目に近づけて点灯させないでください。撮影ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- ・マナーモードを設定している場合でも、静止画撮影時にシャッター音が鳴ります。動画録画時も、録画開始時、録画停止時に音が鳴ります。音量は変更できません。
- ・不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- ・本製品を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などをするなど肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- ・お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- ・位置情報が付加された写真をインターネット上にアップロードする場合、第三者に位置情報を知られる可能性がありますので、ご注意ください。

撮影画面の見かた

1 [カメラ] (1秒以上長押し)

- ホーム画面→「カメラ」と操作しても「カメラ」を起動できます。



《モニター画面》

- ① **電池残量**
電池残量を表示します。
- ② **保存先**
設定している保存先を表示します。
[内部ストレージ]、[SDカード]
- ③ **位置測位中／位置情報付加**
[位置測位中] [測位成功] [測位失敗]
- ④ **シーン別撮影／フォーカス**
[人物]、[風景]、[夜景+人物]、[夜景]、[アクション]
シーン別撮影を「自動シーン検出」に設定している場合は、フォーカス設定のアイコンが表示されます。
[AF] (コンティニュアスAF)、[顔検出]、[マクロ]
- ⑤ **モード**
[連写撮影]、[背景ぼかし撮影]、[クイック撮影]
- ⑥ **セルフタイマー**
セルフタイマーを設定しているときに表示されます。アイコンの右下に設定した秒数が表示されます。
- ⑦ **エフェクト**
モードを「エフェクト」に設定しているときに表示されます。
・設定しているエフェクトによってはエフェクトレベルバーが表示され、エフェクトの効果を調整できます。
- ⑧ **インターバル録画**
「インターバル録画」を設定しているときに表示されます。
- ⑨ **ミュート**
ミュートに設定しているときに表示されます。
- ⑩ **撮影可能残り枚数／録画可能時間**
- ⑪ **オートフォーカス枠**
タッチオートフォーカスや[カメラ]でオートフォーカスしたときに表示されます。
※操作やカメラの状態によって表示が異なる場合があります。
- ⑫ **ズームバー**
画面上で2本の指を広げたり狭めたり[+] [-]を押したりするとズームバーが表示され、ズームを調整できます。
- ⑬ **直前に撮影／録画したデータ**
直前に撮影／録画したデータのサムネイルを表示します。タップするとデータを確認できます (▶P.59「静止画や動画を再生する」)。
- ⑭ **撮影(シャッター)**
- ⑮ **録画／停止**
- ⑯ **インカメラ／アウトカメラ切り替え**
- ⑰ **設定**
カメラを設定します (▶P.58「撮影前の設定をする」)。

撮影前の設定をする

1 モニター画面→[設定]

カメラ設定画面が表示されます。

2	モード	▶P.59「撮影モードを切り替える」
	シーン	シーン別撮影を選択します。選択したシーンに最適な撮影条件が設定されます。 「オート」「人物」「風景」「夜景+人物」「夜景」「アクション」
	セルフタイマー	セルフタイマーを設定します。設定した秒数が経過した後、静止画を撮影します。 「Off」「3秒」「5秒」「10秒」 ・カウントダウン中は音でお知らせします。 ・カウントダウン中に[カメラ] / [クイック]と操作すると、カウントダウンを中止して撮影を開始します。
	フラッシュ	撮影ライトを設定します。 「オート」「On」「Off」
その他	画像サイズ	静止画の画像サイズを設定します。 適切なサイズを選択します。
	録画サイズ	動画の録画サイズを設定します。 適切なサイズを選択します。
	フォーカス設定	フォーカスを設定します。 「コンティニュアスAF」「顔検出」「マクロ」「無限遠」
	測光	測光を設定します。 「中央重点」「平均」「スポット」
	輝度	輝度を設定します。 「オート」「マニュアル」
	コントラスト	コントラストを設定します。 「オート」「マニュアル」
	手振れ補正	手振れ補正のOn/Offを切り替えます。
	ホワイトバランス	被写体を自然な色合いで静止画／動画撮影できるように、白を基準とした色の調整ができます。 「オート」「太陽光」「曇り」「白熱灯」「蛍光灯」
	ISO	ISOを設定します。 「オート」「100」「200」「400」「800」
	オートレビュー	オートレビューを設定します。 「Off」「2秒」「無制限」
	目つぶし検出	目つぶし検出のOn/Offを切り替えます。
	画質	画質を設定します。 「スーパーファイン」「ファイン」「通常撮影」
	カメラキー	カメラキーの動作を設定します。 「静止画撮影」「動画録画」
	位置情報	位置情報の記録のOn/Offを切り替えます。
	撮影補助ライン	撮影補助ラインを設定します。 「Off」「グリッド」
	インターバル録画	インターバル録画時の撮影間隔時間を設定します。 「Off」「1秒」「1.5秒」「2秒」「2.5秒」「3秒」「5秒」「10秒」
	録音	ミュートを設定します。 「ミュート解除」「ミュート」
	保存先	保存先を設定します。 「内部ストレージ」「SDカード」
	初期設定に戻す	カメラの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

memo

- ◎ フラッシュを「On」に設定すると、静止画の撮影時や動画の録画時に撮影ライトが点灯します。フラッシュを「オート」に設定した場合は、静止画の撮影時や動画の録画時に、周囲が暗い場合のみ撮影ライトが点灯します。

■ 静止画／動画を撮影する

1 [] (1秒以上長押し)

モニター画面が表示されます。

■ 静止画を撮影する場合

2 [] / []

画面をタップするとフォーカス位置を調節できます。
撮影したデータは自動的に保存されます。

■ 動画を録画する場合

2 []

録画が開始されます。
「[]」が表示されていないときは、動画の録画はできません。
録画中に [] / [] と操作すると、静止画を撮影できます。

3 []

録画が停止します。録画したデータは自動的に保存されます。

memo

- モニター画面で約60秒間何も操作しないと、カメラが終了します。
- 常時、オートフォーカスが動作し、自動でピントを合わせるコンティニュアスAF機能を搭載しておりますが、被写体によっては、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- 撮影モードを「スマイルシャッター」にし、セルフタイマー撮影を行った場合、カウントダウン終了後に笑顔を検出して、自動的に撮影します。
- 録画中は送話口(マイク)でのみ、録音できます。

■ 撮影モードを切り替える

1 モニター画面→[設定]→[モード]

2	通常撮影	最適な設定で静止画／動画を撮影します。
	エフェクト	エフェクト効果を設定します。
	連写撮影	静止画を連写撮影できます。
	パノラマ撮影	パノラマ写真を撮影できます。
	スマイルシャッター	撮影対象の笑顔を検出して、自動的に静止画を撮影します。 フォーカスは「顔検出」に設定されます。
	HDR	露出レベルの異なる複数の写真を1枚に合成します。
	背景ぼかし撮影	撮影対象の背景をぼかして静止画を撮影します。
	クイック撮影	モニター画面で [] / [] と操作した瞬間に静止画を撮影します。

■ バーコードリーダーを利用する

バーコードリーダーでバーコードやQRコードを読み取ることができます。読み取った内容は、ウェブサイト表示や電話帳・メールの作成などに利用できます。JANコードとQRコードの読み取りに対応しています。

1 アプリ一覧→[バーコードリーダー]

初めて起動したときは、利用規約などが表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

ギャラリー

microSDメモリーカードに保存されている静止画や動画などを閲覧したり、簡単な編集を行ったりすることができます。
再生可能なファイル形式については、「利用できるデータの種類」(▶P.100)をご参照ください。

■ 静止画や動画を再生する

1 アプリ一覧→[ギャラリー]

アルバム一覧画面が表示されます。
「[]」をタップするとカメラを起動できます。
「アルバム」をタップすると、アルバム以外のカテゴリに切り替えることができます。

2 アルバムをタップ

データ一覧画面が表示されます。

3 再生する静止画や動画をタップ

静止画や動画のデータ再生画面が表示されます。

memo

- 静止画のデータ再生画面で [] → [スライドショー] と操作すると、スライドショーを開始します。

■ ギャラリーのメニューを利用する

■ アルバム一覧画面のメニューを利用する

1 アルバム一覧画面→[]

2	アルバムを選択	選択したアルバムの共有や削除が行えます。
	グループの選択	選択したグループの共有や削除が行えます。

※メニューに表示される項目は、画面によって異なります。

■ データ一覧画面／データ再生画面のメニューを利用する

1 データ一覧画面／データ再生画面→[]

2	削除	静止画や動画を削除します。
	スライドショー	スライドショーを開始します。
	項目を選択	複数の画像を選択できます。
	グループ化	「場所」「時刻」でグループ分けします。
	編集	静止画を編集します。
	左に回転	静止画を左に回転させます。
	右に回転	静止画を右に回転させます。
	トリミング	静止画をトリミングします。
	登録	登録可能なアプリケーションを選択します。
	トリム	動画の再生時間をトリミングします。
	ミュート	動画の音を削除して保存します。
	キャプション	動画に字幕を追加します。
	詳細情報	静止画や動画の詳細情報を表示します。
	地図に表示	静止画の位置情報をマップで表示します。
	印刷	静止画を印刷します。

※メニューに表示される項目は、画面によって異なります。

音楽を聴く

音楽やプレイリストなどを視聴できます。再生可能なファイル形式については、「利用できるデータの種類」(▶P.100)をご参照ください。

音楽データを再生する

内部ストレージ／microSDメモリカードに保存されたコンテンツをカテゴリ別に表示して再生できます。

・音楽再生中に「SDカードのマウント解除」(▶P.84)は行わないでください。

音楽を再生する

1 アプリ一覧→[Playミュージック]

・初めてPlayミュージックを起動した場合はアカウントの選択画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 [≡]→[Listen Now]／[マイライブラリ]／[プレイリスト]

アイテムのリスト画面が表示されます。
・初めて「Listen Now」画面を表示した場合は、「Listen Nowへようこそ」が表示されます。閉じるには「OK」をタップしてください。
・「マイライブラリ」をタップした場合は、カテゴリ(タブ)を選択します。「曲」タブを選択した場合は、操作 4 に進みます。

3 アイテムをタップ

4 曲をタップ



◎ 音量は、[+/-]で調節します。

曲や曲に関連する情報を検索する

内部ストレージ／microSDメモリカードに保存されている曲を検索したり、曲に関連する情報を検索することができます。

1 アプリ一覧→[Playミュージック]

2 [🔍]→検索する曲の情報を入力→表示された検索結果をタップ

プレイリストを作成する

1 アプリ一覧→[Playミュージック]

2 アルバム／曲の「:」をタップ→[プレイリストに追加]→[新しいプレイリスト]

3 プレイリスト名を入力→[OK]



◎ プレイリストに曲を追加するには、アプリ一覧→[Playミュージック]→曲の「:」をタップ→[プレイリストに追加]→プレイリストを選択、と操作します。
◎ プレイリストを削除するには、アプリ一覧→[Playミュージック]→[≡]→[プレイリスト]→プレイリストの「:」をタップ→[削除]→[OK]と操作します。なお、曲は削除されません。

ビデオを再生する

Google Playで映画をレンタルしたり、保存した動画を再生したりできます。

・ビデオの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。

1 アプリ一覧→[Playムービー&TV]

2 再生する動画をタップ

動画再生画面が表示され、動画が再生されます。

ファイルを一覧で表示する

ファイル管理は、データをカテゴリ別に一覧表示し、再生することができます。

データを再生する

1 アプリ一覧→[ファイル管理]

データ表示画面が表示されます。



《データ表示画面》

① カテゴリ

タップすると、選択したカテゴリのデータをデータ表示エリアに表示します。
※ 画面に表示しきれていないカテゴリがある場合は、左右にフリックすると他のカテゴリを表示できます。
画像:すべての画像データを表示します。
ビデオ:すべての動画データを表示します。
音楽:すべての音／音楽データを表示します。
フォルダ:microSDメモリカード内をフォルダ階層ごとに表示します。

② データ表示エリア

データの一覧を表示します。エリアを左右にフリックするとカテゴリを切り替えることができます。
データをロングタッチすると、データの共有や削除、ファイル名やフォルダ名の編集、壁紙や着信音への登録、詳細情報の確認などの操作ができます。

2 データを選択

データの種別に応じたアプリケーションが起動し、データが再生されます。再生するアプリケーションが複数存在する場合、アプリケーション選択画面が表示される場合があります。アプリケーションを選択すると再生されます。



◎ 表示されるデータの中には、再生できないものもあります。

データ表示画面のメニューを利用する

ファイル管理から、データの共有や削除、登録などさまざまな操作ができます。

■「≡」をタップして表示されるメニューについて

データ表示画面で「≡」をタップすると、データのソートや検索、削除、microSDメモリカードの容量の確認、最新情報に更新などの操作ができます。



◎ 著作権保護されたデータは、登録データとして利用できないことがあります。

データをコピー／移動する

1 データ表示画面→[フォルダ]→バックアップするフォルダ／ファイルを選択

2 コピー／移動するフォルダ／ファイルをロングタッチ→[コピー]／[移動]

3 コピー／移動先のフォルダを選択→[ここにコピー]／[ここに移動]→[OK]

上書き確認のメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

おサイフケータイ®

おサイフケータイ®とは

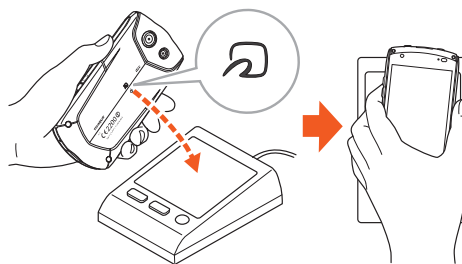
おサイフケータイ®とはNFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。
NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCaを含む非接触ICカード機能やリーダー／ライター機能(R/W)、機器間通信(P2P)機能などが本製品でご利用いただけます。おサイフケータイ®を利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービスプロバイダのおサイフケータイ®対応アプリをダウンロードする必要があります。おサイフケータイ®対応サービスのご利用にあたっては、au電話に搭載されたFeliCaチップまたはau ICカード(micro au ICカード、au Micro IC Card (LTE)、au Nano IC Card (LTE)を含む)へ、サービスのご利用に必要なデータを書き込む場合があります。
なお、ご利用にあたっては、「おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意」(P.106)をあわせてご参照ください。

おサイフケータイ®ご利用にあたって

- 本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、おサイフケータイ®のロックをおすすめします。紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。おサイフケータイ®をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。
- おサイフケータイ®対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電話がかかってくる場合や、アラームの時刻になるとおサイフケータイ®対応アプリからのFeliCaチップまたはau ICカードへのデータの読み書きが中断され、読み書きがされない場合があります。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけない場合があります。
- おサイフケータイ®対応アプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。
- 次の場合は、おサイフケータイ®を利用できません。ただし、リーダー／ライターにかざしてのデータのやりとりは可能です。
 - 機内モード中
 - 一度も電波を受けていない場合
 - 海外ローミング時に充電またはmicroUSBケーブル01(別売)やイヤホンなどのケーブル類を接続している場合
- au ICカードが正常に挿入されていない場合やau ICカードが取り外された場合、おサイフケータイ®対応サービスおよびNFC機能がご利用いただけないことがあります。

リーダー／ライターとやりとりする

㊦マークをリーダー／ライターにかざすだけで、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータのやりとりができます。



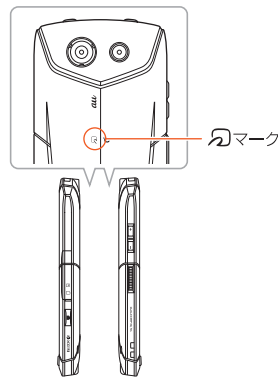
- ㊦マークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- ㊦マークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- ㊦マークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- ㊦マークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、㊦マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- ㊦マークを強い力で押さないでください。通信に障害が発生するおそれがあります。

memo

◎ おサイフケータイ®対応アプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。

他の携帯電話とデータをやりとりする

NFC機能(Android Beam)を搭載した携帯電話との間でデータを送受信できます。



- 2台の携帯電話を並行にして㊦マークを重ね合わせ、送受信が終了するまで動かさないようにしてください。㊦マークを重ね合わせても通信ができない場合は、携帯電話を少し浮かす、または前後左右にずらしてください。
- 送受信の操作や送受信されるデータについては、対応するアプリの動作に依存します。画面の指示に従って操作してください。
- ㊦マークを重ね合わせても、送受信に失敗する場合があります。失敗した場合は、送受信の操作を再度行ってください。
- NFC機能を利用した送受信を行う場合は、「Android Beam」を有効にしてください。

おサイフケータイ®の機能を設定する

1 アプリ一覧→[設定]→[その他...]→[NFC／おサイフケータイ設定]

2 NFC／おサイフケータイロック	おサイフケータイ®の機能をロック／解除します。 ・[次へ]→ロックNo.を入力→[次へ]→[OK]と操作すると、おサイフケータイ®機能のロックが設定／解除されます。
Reader/Writer, P2P	▶P.62「NFC機能を有効にする」
Android Beam	Android Beam(Reader/Writer, P2P機能)を利用したデータ通信ができます。 ・Android Beamについては、「Android Beamでデータを送受信する」(▶P.62)をご参照ください。
NFC／おサイフケータイロック No.変更	「NFC／おサイフケータイロック」のロックNo.を変更します。 ・ロックNo.を入力→[次へ]→新しいロックNo.を入力→[次へ]→再度新しいロックNo.を入力→[OK]と操作すると変更できます。
NFC／おサイフケータイロック No.初期化	「NFC／おサイフケータイロック」のロックNo.を忘れた場合は、PINロック解除コードを利用してロックNo.を再設定できます。 ・[OK]→PINロック解除コードを入力→[次へ]→新しいロックNo.を入力→[次へ]→再度新しいロックNo.を入力→[OK]と操作すると再設定できます。

memo

- ◎ PINロック解除コードについて詳しくは、「PINコードについて」(▶P.11)をご参照ください。
- 「NFC／おサイフケータイロック」について
- ◎ 「NFC／おサイフケータイロック」を有効にしている場合は、おサイフケータイ®をご利用できません。
- ◎ 「NFC／おサイフケータイロック」ご利用中に電池が切れると、「NFC／おサイフケータイロック」が解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後に「NFC／おサイフケータイロック」を解除してください。
- ◎ ロックNo.はau Nano IC Card (LTE)に保存され、本製品から取り外してもau Nano IC Card (LTE)内に保持されます。ロックNo.について詳しくは、「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.11)をご参照ください。
- ◎ おサイフケータイ®をロックすると、ステータスバーに「」が表示されます。

NFCを利用する

NFC機能を有効にする

NFCリーダー／ライター機能を利用したNFCカードの読み書きができます。

1 アプリ一覧→[設定]→[その他...]→[NFC／おサイフケータイ設定]→[Reader/Writer, P2P]を選択

- ・NFC機能が有効になると、ステータスバーに「」が表示されます。
- ・非接触ICカード機能は、NFC機能の有効／無効にかかわらず利用できます。

Android Beamでデータを送受信する

NFC機能を搭載した携帯電話との間でデータを送受信できます。

- ・Android Beamでデータを送受信するには、あらかじめ「Reader/Writer, P2P」を有効にし、「Android Beam」を「ON」に設定しておいてください。
- ・すべてのNFC機能を搭載した携帯電話との通信を保証するものではありません。

データを送信する

例:電話帳を1件送信する場合

1 アプリ一覧→[電話帳]→連絡先を選択→[詳細表示]

2 受信側の端末と、マークを向かい合わせる

初回起動時は、許可画面や利用規約画面が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

3 画面をタップ

データを受信する

1 送信側の端末と、マークを向かい合わせる

memo

- ◎ アプリによってはAndroid Beamをご利用になれません。
- ◎ 通信に失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてもう一度かざしてください。

NFCメニューを利用する

NFCサービスに対応するアプリの一覧表示やNFCロックの設定などのほか、各種設定を行うことができます。

1 アプリ一覧→[NFCメニュー]

NFCメニュー画面が表示されます。
NFCサービスに対応したアプリが表示されます。
初回起動時は、許可画面や利用規約画面が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 アプリを選択

NFCメニュー画面のメニューを利用する

1 NFCメニュー画面→[■]

2

サービス一覧更新	登録しているサービスの情報を更新します。	
NFCポータルサイト	ブラウザを起動してNFCポータルサイトを表示します。	
NFCロック	「NFC／おサイフケータイロック」などの設定を行います。 ・詳しくは「おサイフケータイ®の機能を設定する」 (▶P.62)をご参照ください。	
ヘルプ	NFCメニューのヘルプを表示します。	
設定	表示タイプ変更	NFCメニュー画面の表示タイプを設定します。
	カテゴリータイプ変更	カテゴリーの表示方法を横方向／縦方向に切り替えます。
	配色変更	NFCメニュー画面の色を設定します。
	アニメーション	NFCメニュー画面をアニメーションするかどうかを設定します。
	利用規約	NFCメニューの利用規約を表示します。
決済カード設定	決済するカードを設定します。	
サービス移行支援	NFCサービスの移行情報を、他の端末に送受信できます。	

NFCタグリーダーを利用する

NFCタグの読み込みやデータ書き込みを行います。またデータ読み取り後、その情報に応じた動作をします。

1 アプリ一覧→[NFCタグリーダー]

NFC機能が無効に設定されている場合は、注意画面が表示されます。画面の指示に従って操作して、NFC機能を有効にしてください。
初回起動時は、許可画面や利用規約画面、自動起動設定画面などが表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 Share	NFC機能を持つ相手側の機器との間で電話帳などの各種データを送受信します。
Writing	NFCタグに書き込む情報を設定し、NFCタグにかざして書き込みます。
History	NFC機能の利用履歴を表示します。
Setting	NFC SettingやApp Settingを行います。 ・NFC Settingについて詳しくは「おサイフケータイ®の機能を設定する」(▶P.62)をご参照ください。 ・App Settingを設定すると、自動起動、メインカラー選択、効果音、NFCタグ認識音、NFCタグ書き込み音、バイブレーションの設定や、利用規約の確認ができます。

NFCデータをやりとりする

本製品背面のマークをリーダー／ライターにかざしたり、NFC機能を持つ機器同士でマークを近づけたりすることで、NFCデータのやりとりができます。

FeliCaに対応したサービスを利用する

利用方法などの詳細については、アプリ一覧→[おサイフケータイ]→[■]→[サポートメニュー]→[操作ガイド]と操作しておサイフケータイ アプリ操作ガイドをご参照ください。

1 アプリ一覧→[おサイフケータイ]

[おサイフケータイ アプリ]が起動します。

確認画面や初期設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 [おすす]→サービスを選択

表示されたショートカット、またはサービス紹介サイトから、ご利用になりたいサービスを選択してください。

- サービスによっては初期登録が必要です。画面の指示に従って操作してください。



○ 操作 2 で「ロック設定」をタップすると、NFC / おサイフケータイ設定画面 (▶P.62) が表示され、「NFC / おサイフケータイロック」の設定などを行うことができます。

■「おサイフケータイ アプリ」のメニューを利用する

1 アプリ一覧→[おサイフケータイ]→[■]

2	表示形式切替	表示モードを切り替えます。
	サービス表示 情報更新	サービス表示情報を最新の状態に更新します。
	メモリ使用状況	FeliCaチップのメモリ使用状況を確認します。
サポートメニュー	おサイフケータイ アプリ ご利用規約	「おサイフケータイ アプリ」の利用規約を表示します。
	電子マネー残高表示機能 ご利用条件	電子マネー残高表示機能の利用条件を表示します。
	バージョン情報	利用中のバージョンを確認します。
	操作ガイド	「おサイフケータイ アプリ」の操作ガイドを表示します。
	設定リセット	サービス表示情報をリセットします。 ・おサイフケータイ®のアプリやデータは削除されません。

※ メニューに表示される項目は、画面によって異なります。

Androidアプリ

Google Playを利用すると、便利なアプリやゲームに直接アクセスでき、本製品にダウンロード、インストールすることができます。また、アプリのフィードバックや意見を送信したり、好ましくないアプリや本製品と互換性がないアプリを不適切なコンテンツとして報告したりすることができます。

Google Playを利用する

Google Playは、Googleのサービスです。

- Google Playのご利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。
- ダウンロードするアプリやゲームには無料のものと有料のものがあり、Google Playのアプリ一覧ではその区別が明示されています。有料アプリの購入、返品、払い戻し請求などの詳細については、「Google Playヘルプ」(▶P.63)でご確認ください。

Google Playをご利用になる前に

- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。アプリによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。
- アプリによっては、microSDメモリカードを取り付けていないと利用できない場合があります。
- アプリの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリやインストールされているアプリは、アプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリを検索し、インストールする

1 ホーム画面→[Playストア]

Playストア画面が表示されます。

- 利用規約が表示された場合は、内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

■有料のアプリを購入するときは

アプリが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。

- アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後のアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。

■返金を請求する

購入後一定時間内であれば返金を請求することができます。クレジットカードには課金されず、アプリは本製品からアンインストールされます。

- 返金請求は、各アプリに対して最初の一度のみ有効です。
- 過去に一度購入したアプリに対して返金請求をし、同じアプリを再度購入した場合には、返金請求はできません。

■Google Playヘルプ

Google Playについてお困りのときや質問がある場合は、Google Play画面左上の「■」をタップ→[ヘルプ]と操作します。アプリを選択すると、Google Playヘルプ Webページに進みます。